

友達と過ごす4泊5日

家族と離れて異学年の友達と共同生活しながら学校に通う「合宿通学」が、6月6日今庄小学校（4～6年生）で、6月20日は湯尾小学校（4～6年生）と河野小学校（3・4年生）で行われました。合宿通学は、共同生活をする中で自主性や自立性、協調性を養い、また基本的な生活習慣を身につけてもらうことが目的です。合宿中児童たちは、洗濯や掃除、布団の上げ下ろしなど慣れないことに戸惑っていましたが、「家の人は毎日大変なんだな。自分でできるようにしよう」と友達同士協力しながら取り組んでいました。

また、子どもたちは家事雑務のほか、友達との夕食時間や地域の人たちとのレクリエーション、パンの作り方を習ったりと、たくさんの思い出ができたようです。

今庄・湯尾・河野小校下で合宿通学



快適な暮らしに一役

住宅補修ボランティア

7月9日、今庄建築業組合（能美利男組合長）・同青年部が一人暮らし高齢者住宅補修ボランティアを行いました。これは、満75歳以上で県内に子供さんが住んでいない方を対象に、日頃から鍛錬された技術が無償で提供し、快適な暮らしを送ってもらおうと実施したものです。今回は、今庄地区内の6戸を廻り、床張替えや戸の建て付け調整、棚板取り付けなどのほか、今庄保育所と今庄児童館の網戸も補修しました。事前に下見をして必要な材料を買い揃えるなど、段取りよく作業が行われ、補修を受けた高齢者から大変喜ばれていました。



特産の梅 人気上々

第10回河野うめまつりが、6月17日、18日の両日、北前船主の館右近家前駐車場で開かれました。今年は梅の生育が遅れているものの豊作で、会場では、収穫したばかりの青梅が販売され、買い求める人たちが賑わいました。そのほか、梅干しや梅ワインなどの加工品、焼きさば、サザエのつば焼きなど海の幸も人気を呼んでいました。

また、梅もぎ体験には定員いっぱいの300人が参加。町営梅園のほか、今年も生産農家の梅園でも梅もぎ体験が行われ、青梅を袋いっぱいに詰めていました。農家の人たちは「梅干しを自分で作る家庭が増えているように思います。特産の梅がみなさんの作る梅干しや梅酒に使われるのはうれしい。これからおいしい梅を作っていきたい」と話していました。

河野うめまつり



あの感動を再び

第2回第九演奏会



南越前第九演奏団の「第九演奏会」が6月25日、南条文化会館で行われました。

今年は昨年の感動を再現するとともに、町の文化振興に一役買おうと企画し、20歳代から80歳代の約100人が参加。県合唱連盟理事長松村勇さんの指導で週1回の練習を重ねてきました。

演奏会では、オープニングの南越前町讃歌「あなたはどんな花がすき」に続き、ウィーン岐阜管弦楽団の演奏に合わせモーツァルトの「アヴェ・ヴェルム・コルプス」を合唱しました。ベートーベンの「交響曲第九番」では第四楽章をドイツ語で披露。ソプラノ、アルト、テノール、バリトンの美しいハーモニーが会場を包み、観客から大きな拍手が送られました。

神秘的な池を目指して

昨年の大雪で傷んだ登山道の修復作業のため、一カ月遅れとなった夜叉ヶ池山開きが、7月2日に行われました。

登山口では安全祈願祭が行われ、登山愛好家ら120人が見守る中、夜叉太鼓と扇舞を奉納。神事が終わると、雷が鳴り響く中、池を目指して登って行きました。山頂では、澄み切った池やニッコウキスゲ、コバイケイソウの花畑が登山者の心を癒していました。また、池周辺では霧雨の中、夜叉ヶ池ボランティアパトロール員が、夜叉ヶ池に生息するヤシヤゲンゴロウの保護や自然環境保護を呼びかける姿も見られました。

夜叉ヶ池山開き



早く大きくなってね

7月13日、甲楽城漁港で河野小学校5年生がヒラメの放流に挑戦しました。越過中間育成施設より出荷されたヒラメの稚魚は約10センチ。搬送トラックから水槽に移す稚魚がピチピチ跳ねると、児童たちは「小さくてかわいい」と大喜び。岸壁に並び「早く大きくなってね」とバケツに入ったヒラメを海に放していました。ヒラメの稚魚は約1年半かけて、30センチメートルの漁獲サイズになるそうです。

ヒラメの稚魚放流体験



トビウオの干物を作りました

第1回南越前町地域活動連絡協議会合同事業

7月15日、河野漁港で町内の人を対象にトビウオの干物作りが行われました。これは地域の人たちのふれあいを大切にしてもらおうと、南越前町地域活動連絡協議会（橋本智子会長）が実施。町内の子どもや大人およそ80人が参加しました。地元のボランティアグループちひろ会らも協力し、魚の扱い方や包丁の入れ方などを説明すると、「魚をさばくのは初めて。簡単そうに見えるけど、魚は思ったより硬くて切るのがむずかしい」と奮闘しながらも、トビウオを干物にしました。参加者らは「楽しい体験ができました。また機会があったら参加したい」と喜んでいました。

南条小学校でサッカー教室

元オリンピックサッカーチームアメリカ代表選手のトム・バイヤー氏が、7月18日南条小学校を訪れ3、4年生を対象にサッカー教室を開きました。南条少年サッカークラブの東大樹君（南条小3年）の応募がきっかけでトムさんの学校訪問が実現。Jリーグ選手の名前当てなど、サッカーに関係のあるクイズのあとボールを使って実演。ドリブル競争では、素早い足の動きに、「すごい！トムさんみたいなサッカー選手になりたい」と児童らは興奮。「基本をマスターして個人の技術を持ち、テクニックを伸ばしてほしい」とトムさんは話していました。

最後にワールドカップ公式ボールなどが児童たちにプレゼントされました。

トムさんの学校訪問 2006



阿吽の呼吸で



●南越前消防団分団対抗ポンプ操法大会

優勝 第6分団
次勝 第3分団
3位 第4分団

小型ポンプ操法大会

7月9日、今庄中部地区農業集落排水処理施設前広場で、午前中は南越前町自警消防隊連絡協議会の小型動力ポンプ操法大会が、午後からは南越前消防団分団対抗ポンプ操法大会が行われました。この大会は自警消防隊員および消防団員の士気の高揚と消防技術の向上を図り、消防体制の充実強化を目的に行うもので、当日は、町内の自警消防隊18チーム、消防団9チームが参加し、日頃の訓練の成果を競いました。また、家庭を守る女性の初期消火技術の習得を図るため、女性消火技術指導会も行われ、13の女性消火隊が参加しました。操法大会の結果は次のとおりです。



●南越前町自警消防隊連絡協議会 小型動力ポンプ操法大会

優勝 桜町自警消防隊Bチーム
次勝 上野自警消防隊Aチーム
3位 桜町自警消防隊Aチーム
努力賞 関ヶ鼻、八飯、下牧谷、阿久和、脇本各自警消防隊（競技順）

腕前を披露

南越前町文化協議会南条地区発表会が、7月9日南条文化会館で開かれました。ロビーなどでは、書道や水墨画、陶芸、花はす俳句展などの展示が行われたほか、2階では美術愛好会会員や町民囲碁同好会会員が集まり、自慢の品や腕を披露しました。

午後からの舞台発表では、大正琴や民謡などのほか今庄地区の湯和会や河野地区の糠あやめ会も参加し、それぞれが日頃の練習の成果を発揮し、観客から盛大な拍手が送られていました。



南越前町文化協議会南条地区発表会

